

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5(4)	キャラバンメイトの講習について、依頼を待たず行動する。	自治会から始め、学校に自ら声掛けさせて頂き、認知症サポーターを地域に増やしていく。又、地域包括センターと連携をとり、より講習内容を充実していく。	10月中に自治会と連携を取り、講習会の必要性を把握した上、ご提案させて頂く。今後、必要性に応じて講習会を行なっていく。	12ヶ月
2	30(11)	受診対応は施設職員が行うことが多い為、ご家族には説明を始め、医療開示を不十分である。	ご家族がご面会に来られた際、必ず受診対応した結果等をお伝えしていく。又、遠方のご家族には毎月の「ご家族様便り」に受診・往診等の情報を開示出来るようにしていく。	10月中ご面会に来られたご家族には受診・往診な結果を口頭で説明を行なっていく。今後、「ご家族様便り」を通して、居室担当の職員や看護師から医療開示を行なっていく。	6ヶ月
3	35(13)	AEDの講習会や防災訓練を行なう際、地域の方の参加体制は不十分である。	地域の防災訓練に積極的に参加していく。又、当施設で防災訓練を行なっていることを知って頂き、周辺の住民の参加を呼び掛けていく。	10月の運営推進会議で施設の防災訓練の予定を発信して、参加の呼び掛けを行なっていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。